

2002年度入学試験問題

数	学
---	---

文 系

試験時間 120 分

答案作成上の注意

- 1 この問題冊子には、問題が5問あります。総ページは16 ページで、問題は4 ページ以降の偶数ページにあります。
- 2 解答用紙は5枚です。解答はすべて対応する番号の解答用紙の所定の解答欄（表面）に記入しなさい。解答用紙の注意書きもよく読みなさい。
- 3 受験番号は、それぞれの解答用紙の所定の欄（2ヶ所）に必ず記入しなさい。
- 4 試験終了後は、解答用紙の右上の番号の順に並べなさい。
- 5 配付した解答用紙は、持ち出してはいけません。
- 6 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。
- 7 この問題冊子の裏表紙には、試験時間中に机の上に置いてよいものを記載しています。

空 白

空 白

〔 1 〕 正の定数 a に対し, $\log_a(3x) + \log_{\sqrt{a}}(a - x) = 1$ を満たす実数 x がちょうど 2 つある。このとき, a はどのような範囲にあるか。

空 白

〔 2 〕 直線 $x + y = 1$ 上の点 Q と、放物線 $y = x^2$ 上の原点 O とは異なる点 R に対し、2つの半直線 OQ , OR の x 軸の正の向きからはかった角をそれぞれ α , β とおく。さらに、線分 QR の中点を P とおく。2点 Q , R が $\alpha = \beta + 45^\circ$, $0^\circ < \beta < 45^\circ$ を満たすように動くとき、次の問いに答えよ。

- (1) 直線 OQ の傾きを a , 直線 OR の傾きを b とするとき、 $a = \frac{1+b}{1-b}$ となることを示せ。
- (2) 点 P の座標を b を用いて表せ。
- (3) 点 P の軌跡を求めよ。

空 白

〔 3 〕 放物線 $y = x^2$ 上の 2 点 $A(a, a^2)$, $B(b, b^2)$ ($a < b$) における接線をそれぞれ ℓ_A , ℓ_B とする。

- (1) ℓ_A , ℓ_B の交点を $P(p, q)$ とするとき, a, b は 2 次方程式 $x^2 - 2px + q = 0$ の解であることを示せ。
- (2) 2 直線 ℓ_A , $x = b$ と放物線 $y = x^2$ とで囲まれた図形の面積 S は $\frac{1}{3}(b - a)^3$ であることを示せ。
- (3) 交点 P が放物線 $y = -(x - 1)^2$ 上を動くとき, 面積 S の最小値を求めよ。

空 白

〔 4 〕 1 個のさいころを投げるという試行をくり返す。奇数の目が出たら A の勝ち、偶数の目が出たら B の勝ちとし、どちらかが 4 連勝したら試行を終了する。

- (1) この試行が 4 回で終了する確率を求めよ。
- (2) この試行が 7 回以下で終了する確率を求めよ。
- (3) この試行が 5 回以上続き、かつ、4 回目が A の勝ちである確率を求めよ。
- (4) この試行がちょうど 8 回で終了する確率を求めよ。

空 白

〔 5 〕 三角形 ABC において,

$$|\overrightarrow{AB}| = c, \quad |\overrightarrow{BC}| = a, \quad |\overrightarrow{CA}| = b, \quad \overrightarrow{p} = \frac{\overrightarrow{AB}}{c}, \quad \overrightarrow{q} = \frac{\overrightarrow{BC}}{a}, \quad \overrightarrow{r} = \frac{\overrightarrow{CA}}{b}$$

とおき, $b < c$, $\angle B < \angle C$ とする。

(1) $|\overrightarrow{r} - \overrightarrow{q}| < |\overrightarrow{q} - \overrightarrow{p}|$ であることを示せ。

(2) 定数 s, t に対して, 辺 AB 上の点 D, 辺 AC 上の点 E があって

$$\overrightarrow{BE} = s(\overrightarrow{q} - \overrightarrow{p}), \quad \overrightarrow{CD} = t(\overrightarrow{r} - \overrightarrow{q})$$

となっている。このとき, s, t を a, b, c の式で表し, さらに $|t(\overrightarrow{r} - \overrightarrow{q})| < |s(\overrightarrow{q} - \overrightarrow{p})|$ であることを示せ。

空 白

